

平成 27・28 年度
(一財) 滋賀陸上競技協会

地域委員会活動報告書

平成 29 年 6 月 4 日 (日)

地 域 委 員 会

はじめに

一般財団法人滋賀陸上競技協会（以下、「滋賀陸協」と称する）の専門委員会に属する地域委員会は、平成 24 年度に発足しました。

平成 27・28 年度地域委員会は、発足後平成 26 年度までの 3 ヶ年の地域委員会において検討された内容などを参考にして活動をスタートさせ、まず、有益な委員会活動を実施するために本委員会の役割及び活動内容などについて意見交換を行いました。

その中で各委員が具体的に何をやるべきかという基本的な内容について委員全員が共通認識に立つべきと考え、議論するための時間を設けるとともに、平成 27 年度は各地域の現状と課題（下記の項目）を中心に意見交換を行ってきました。

- ◆ 滋賀陸協の現状と課題
- ◆ 地域陸協の現状と課題
- ◆ 地域陸協と滋賀陸協の関係に関する現状の課題

平成 28 年度は、上記の項目に対して下記に示した来期以降に繋がる対応策について議論して参りました。

- ◆ 地域陸協の現状を少しでも改善できる具体策
- ◆ 滋賀陸協に対する要望と提案
- ◆ 滋賀陸協と地域陸協の関係を強化する具体策

本報告書は、以上の委員会活動の内容についてまとめたものであります。その構成は、滋賀陸協・地域陸協の現状と課題、課題解決のための対応策および次年度以降の具体的な行動計画の提案などでありあります。

本報告書は、多くの関係者に内容をご理解していただくことが重要であります。その上で、緊急を要する事項および優先すべき対応策についてそれぞれの立場において積極的に取り組んでいただくための基礎資料として活用されることを期待するものであります。

なお、平成 27・28 年度地域委員会の委員（敬称略）は下記のとおりであります。

委員長：荒川 昭治（大津）

副委員長：宮本 孝（彦根）

委員：小澤 信一（甲賀）、河地 誠（米原）、北村 統（長浜）、
北村 一博（守山）、島 孝志（栗東）、高木治三郎（東近江）、
竹内 廣司（湖南）、中江 一男（近江八幡）、夏原 正夫（草津）、
橋爪 健司（高島）、三木 英雄（野洲）

目 次

はじめに

1. <u>活動結果の概要</u>	1
2. <u>滋賀陸協の現状と課題</u>	1
3. <u>地域陸協の現状と課題</u>	4
<u><地域陸協の現状></u>	4
<u><地域陸協の課題></u>	5
<u><地域陸協改革の必要性></u>	6
4. <u>地域陸協と滋賀陸協の関係に関する現状の課題</u>	7
5. <u>課題についての対策案および要望と提案</u>	7
6. <u>次年度以降に実施すべき内容の提案</u>	10
7. <u>おわりに</u>	12

参考資料

1. 活動結果の概要

- ◆ 登録に関する事柄
滋賀陸協登録時に地域陸協の所属を明確にする方法を検討する。
- ◆ 地域陸協への補助金可否の判断ルール
地域陸協が要望した新規事業に対して補助金の可否を判断するルールを検討する。
- ◆ 滋賀陸協のホームページ
滋賀陸協 HP 上に各地域陸協の活動状況などを定期的に提供し、充実させる。
- ◆ 審判講習会の開催
地域陸協が積極的に審判講習会の運営（会場・講師派遣など）を担う。
- ◆ 小学生陸上の指導者のデータベース
小学生陸上の指導者データベースを構築していただくことを要望する。
- ◆ 事務局の強化
滋賀陸協と地域陸協のコミュニケーションの場として事務局会議の開催を要望する。

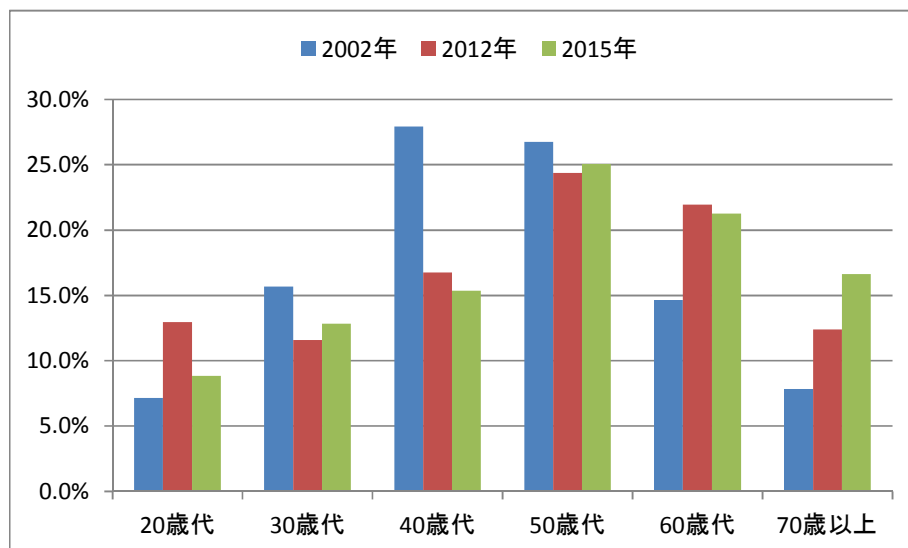
2. 滋賀陸協の現状と課題

- ① 登録会員数（2002年と2015年の比較）
- 登録者数は1,008名から883名に約120名減少。
 - 地域陸協主体となる団体登録者数は、348名から270名に約80名減少。
 - 企業クラブは、時代の流れから大幅に減少（120名減/6企業減）。
 - 実質的に個人レベルの登録者が約200名増加。
- 以上から、会員減少により組織的な弱体化が懸念され、個人登録者の増加により統率力に陰りが生じる可能性が考えられます。

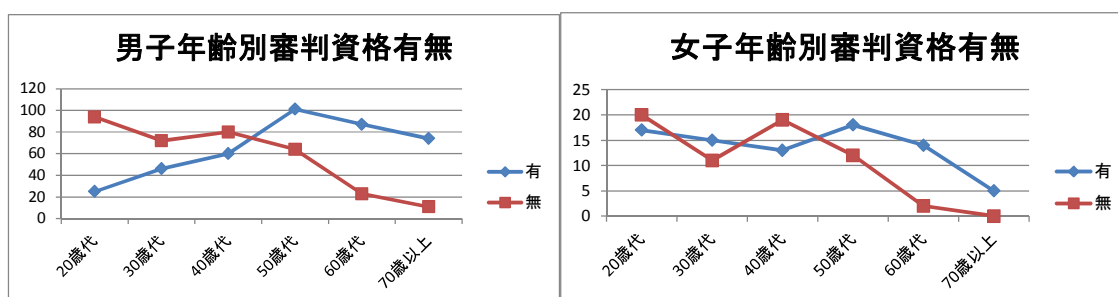
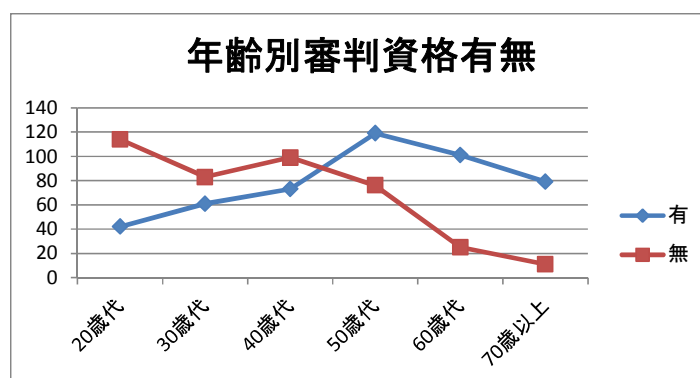
(一財)滋賀陸上競技協会				
	①地域陸協(AC)	②企業クラブ	③クラブチーム	④個人登録
2002年 1006名	348名/13郡市	184名/13企業	474名/25チーム	無
	(約80名減)	(120名減) (6企業減)		
2015年 883名	270名/13郡市	64名/7企業	464名/31チーム 1チーム10名未満の チームが16チームで 109名	85名
				③と④から、実質的に約200名が個人 レベルの登録者となっている。

② 審判の高齢化

2002年の審判資格者は40歳代、2012年・2015年では50歳代がピークでした。このままでは2024年には60歳代がピークとなることは簡単に予想できます。



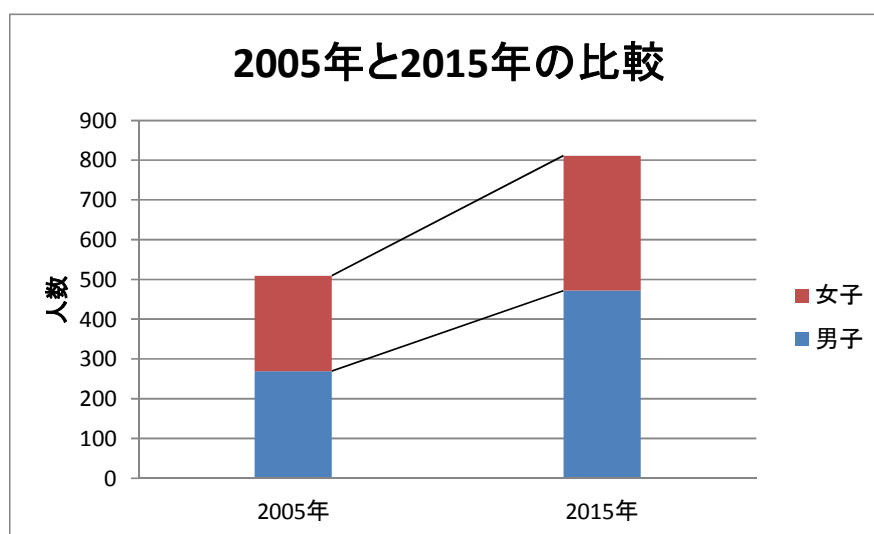
次に、2015年の滋賀陸協全登録者883名（男子737名、女子146名）における、審判有資格者数475名（53.8%：男子393名、女子82名）について、年代別に調べると20～40歳代の年齢では有資格者が無資格者に比べ少ないが、50～70歳代の年齢では逆に有資格者が無資格者よりもかなり多くなっています。これは、若い世代では現役選手として活動しており、年齢を重ねていくと競技役員として携わっていることが理解できます。



③ 小学生の陸上教室の現状

全国小学生陸上滋賀大会のエントリー数について、2005年度と2015年度の全エントリー数は、前者が509名（男子：269名、女子：240名）に対して10年後の后者は811名（男子：472名、女子：339名）でありました。将来を担う小学生たちが10年間に300名も増加したことは、滋賀陸協として大へん明るい材料であります。

このように、数字上は好材料として認識していますが、現実的には各地域・各クラブチームにおいて現状及び将来に向けて多くの課題（練習場所、指導者など）があるものと推察されます。



④ 財政面

滋賀陸協の年間収支は、概ね3千万円強で運営されていてバランスがとれているようであります。しかしながら、今後、イベントの開催が予想されること、多くの課題に対して予算が必要なこと、および2024年メインイベントである滋賀国体などを考慮すると、以前の主たる収入源である賛助金が廃止され寄付金や協賛金に頼る収入源に多くを期待できないことから新たな収入計画とより効果的な支出計画の立案が望まれます。

ここに、財政面で多くの課題があることを認識する必要があります。このことから下記について分析し、課題解決に向けて検討する必要があります。

- ◆ 今後予想されるイベントについて、必要経費を積算する。
- ◆ これに向けた基金確保を予算化する。
- ◆ 国体に向けての対策費について毎年の必要経費を精査し、現在留保している年間100万円の予算についてより有効な使途を明確にする必要があります。
- ◆ 現在の定型の事業計画と予算計画を見直し、メリハリをつけた支出計画を検討するとともに上記の基金の確保に努める必要があります。
- ◆ 収入増が期待できる事業計画について研究する必要があります。

3. 地域陸協の現状と課題

地域陸協の現状と課題および地域陸協の改革の必要性などについて、各地域委員からの情報を以下にまとめました。

<地域陸協の現状>（参考資料1～3参照）

① 会員構成

◆ 地域陸協の中心的な登録団体

各地域の「〇〇AC」として登録されている団体を中心に地域陸協の活動が行われているようであります。

◆ 構成員

構成員は、滋賀陸協登録者（415名）以外に一般会員の方々が全体（未登録者）で120名程度所属しており、合計537名であります。また、滋賀陸協登録者数は883名で登録者の住所から各地域に配分すると、参考資料1の通りであります。このうち、個人登録者は全体で85名（〇内数字は審判有資格者数）です。

◆ 審判資格者（全体、男女別、地域別、年齢別）

滋賀陸協登録者について、地域別、男女別及び審判資格者有無別に整理すると、参考資料1の通りです。なお、年齢別に分類したものは参考資料2にまとめています。

② 活動内容

◆ 地域陸協の規約の有無

地域陸協における規約は、高島市以外のすべての地域が有しています。また、総会は野洲市及び高島市以外の地域で開催されています。

◆ 年会費

会員から会費を徴収して活動費に充てている地域は、8地域存在し、会費は倍半分の幅があるものの概ね1000円/年程度であります。

◆ 大会運営

高島市を除く地域で、陸上競技大会及び駅伝大会が開催され、さらに記録会、マラソン大会及び小学生陸上大会も開催している地域が存在し、活発に活動しているものと考えられます。（参考資料3参照）。

③ その他

◆ 小学生陸上

地域陸協が把握している小学生の陸上クラブは、参考資料1に示すとおりです。全体でクラブ数は19チーム存在し、小学生の数は1154名であります。

◆ 中体連

2016年度の登録人数は3,467名（男子：2075名、女子：1392名）であります。

◆ 高体連

2015年度の登録人数は、男子が1121名、女子が514名で合計1635名であります。

<地域陸協の課題>

- ① 構成員
 - 高齢化によるクラブチームの廃部
 - 高齢化による活動低下や協会存続の危機
 - 選手及び審判員の把握に苦慮
 - 地域（市）全体における滋賀陸協登録者を把握できていない
 - 県民体育大会、駅伝フェスティバル大会などの地域の代表選手集めに苦慮
- ② 小学生の支援
 - 指導者不足
 - 将来を担う子供達の人材発掘及び育成
- ③ 現役選手への支援
 - 支援する体制づくり・環境づくり
 - 中学・高校生は問題ないが、大学・社会人の現役選手が少ない。
- ④ 競技役員
 - 各地域陸協で審判員の存在が把握できていない。
 - 競技役員不足で、近隣の市にお願いしている地域が多い。
- ⑤ 施設
 - 大半の地域陸協は自由に使用できる陸上競技場が少ない。
- ⑥ その他
 - 活動を拡大していくための財政面の検討が不可欠であり、多くの人材が必要で特に高齢化に歯止めをかける若手人材確保が急務である。
 - 体協との連携なしに行事実施不可。陸協独自の行事がほとんどなく、陸上選手の裾野を広げることができない。
 - 2024年滋賀国体陸上競技開催市としての体制づくりについて、どのように選手強化できるか。
 - 今後、地域陸協が開催する競技会やイベントなどを企画する場合、運営などに関わる会員の存在が大きく影響する。現状のままでも大会運営など現実的に可能であると考えられるが、各クラブチームが一つの組織に結集することによってより充実した活動が期待できるものと考えられる。従って、地域陸協は陸上愛好者を含め、各クラブチームをまとめた組織づくりが必要であるとする。
 - 現状の組織として事務局の負担が非常に大きい、さらに組織としてまとめるとなると事務局の強化が急務である。
 - 現状においては、総会についても近年は毎年必ず開催されるわけではなく不定期開催であり又大会についても例年やっている大会を実行するのみで、大会の反省会もない状況で、ましてや新しい取組みなどは、市の体育協会の絡みもあり、なかなかそういった発想に至るまでもないというのが現実である。

- 当方の主催・主管大会は手動計時で公認大会ではないが、指導者に聞くと「安価で気軽に出場でき、普段の大会に出られない選手が出場できる」とのことであり、競技者数の多い学校での課題があることがわかった。今後も小・中学生における競技の普及や人材発掘として大会を続けていく意義があると感じている。
- 現役選手に対して、選手として活躍できるのは競技役員など運営してくれる方々のおかげであることを肌で感じさせることが大切である。将来、指導者や競技役員として後輩たちの面倒を見るということに繋がってくるものと思う。
- 組織として、会長1人、副会長2人、顧問6名、理事長1人、理事12名、幹事1名、監事1名、事務局1人で運営しているが、事務局の負担が非常に大きい。数年前から、規約に定めて、事務局は事務局費を支給している。
- 地域陸協は市体育協会に所属しているので、体育協会の様々な事業への動員がかかり、何とか会員に協力いただいている。
- 市体育協会の加盟団体として「陸上競技協会」の名称はあるものの、規約はもとより、組織自体が構成されていない。
- 地域陸協としては、実質的に活動をしていない。なお、登録者の何人かが運営に協力している。

＜地域陸協改革の必要性＞

今後の組織のあり方について各地域陸協は苦慮されています。ここに、協会改革の必要性についてまとめてみました。

- 大津市：当面は、現クラブチームはそのまま、クラブチームをまとめる方向で大津陸協の組織強化を考えている。
- 草津市：年齢的に高齢化しているので若手の人材を確保が急務である。
- 栗東市：陸上教室（小学生）や各種大会を通じて、中学生指導者との結びつきが段々と強化されつつあるが、個人レベルでのつながりが多く、組織としての活動になっていないので、若手指導者、役員の組織化を痛感している。
- 守山市：施設設置及び選手育成のために組織を考えていく必要がある。
- 野洲市：クラブチームの中には高齢化により、クラブの維持が難しくなっているチームがある。
- 近江八幡市：市体協の組織をぬけるべきでない。地域クラブを立上げ、陸上愛好者を増やし、会員を増やしたい。
- 東近江市：小中生強化に向けた取組みを実施している。
- 彦根市：今後はクラブチームの選手や競技役員を積極的に勧誘し、組織の充実を図る。小学生選手の発掘と指導者の養成が必要である。陸協会員の高齢化を考えると若年層の会員増が急務である。
- 米原市：引き続き、若い会員の確保に努める。
- 長浜市：2つの協会が存在することとなり、大会等では協力しあっているが、

早々に一つにまとまることが望まれる。小、中、高校との連携による選手の継続的な育成、協会の拡充が急務である。

- 高島市：高島市陸上競技協会の規約を作成し、現在登録されている審判員等に本組織に参加していただき、「高島市の陸上競技に関する諸計画の作成、技術指導等を行うほか、各種大会を開催する等」を目標として、当該地域で活動したい。
- 湖南市：春季小学生記録会・市民健康マラソン・市民駅伝には協力してもらっているが、陸協の会議など組織として重要な集まりには出席者が少ないことから大幅な改革が必要である。
- 甲賀市：若い会員が引き継ぎ発展させてもらえるかが課題、若い会員に魅力ある陸上競技協会組織の在り方と、ボランティア精神、地域への関わり大切さをいかに伝え共に発展充実させるかである。
- 蒲生町：高齢化し、次を引き継ぐ人を作らなければならない。小学校陸上から育った若い人たちの加入を促進する。滋賀陸協に登録するメリットを感じていないので、それを感じてもらえる策を考えなければならない。

4. 地域陸協と滋賀陸協の関係に関する現状の課題

- ① 法人化に伴い、従来の代表委員会が廃止されたことにより本協会と地域陸協との関係が脆弱化することが懸念される。本協会と地域陸協との連絡手段として代表者連絡会を設けているが、これはあくまで情報伝達の場合に限定していることから両者のコミュニケーションを図る場がない。また、事務局レベルで滋賀陸協と地域陸協とのコミュニケーションを図る場がない。
- ② 地域陸協側として、滋賀陸協に何かを要望し提案するほど組織的な活動はできていない。(要望事例：各地域での事業に、協会からの人的、財政的補助がほしい。地域陸協主管の競技会に、審判員等の派遣を滋賀陸協に要望する。地域陸協の体制強化に滋賀陸協の協力がほしい。)
- ③ 滋賀陸協との連携は必要と思うが、より地域の体育協会との連携を重視しなければならない。

5. 課題(◆印)についての対策案および要望と提案(☆印)

これまでの委員会で議論された内容を踏まえ、地域陸協の現状を改善できる具体策について検討した結果を報告します。

① 地域陸協構成員の確保について

- ◆ 滋賀陸協全体として、近年の会員減少による組織的な弱体化が懸念されること、および個人登録者の増加による統率力の陰りが認められることなどが緊急の課題である。そこで、滋賀陸協が強固な組織力および統率力を保持し発展していくためには、

地域陸協が充実することが望まれる。

- ◆ しかしながら、地域陸協においては、滋賀陸協登録者 883 名のうち半数以上（883－415＝468）が未掌握のため大半の地域陸協では大会代表選手及び競技審判員の依頼に苦慮しているのが現実である。さらに、高齢化によるクラブチーム廃部、活動低下などから協会存続の危機的状況にある地域陸協も存在する。
- ☆ 以上から、地域陸協の上記の重要な課題について下記の対応策を提案する。
 - 地域陸協が陸協登録者を完全に把握できていないことに加え、地域陸協の存在すら知らない陸協登録者がいる。そこで登録時に住んでいる地域を記載する方法を提案する。
 - 次に、記載した地域別に陸協登録者名簿を個人情報の取扱いに十分留意した上で地域陸協代表者に提供する。
 - 滋賀陸協の HP 上に各地域陸協の活動状況やお知らせを掲載することで、地域陸協構成員が情報共有できるとともに、地域陸協間での交流に繋がるものと考えられる。同時に、地域陸協の窓口を紹介する。
 - 上記の情報開示や地道な勧誘活動を通して、構成員を確保する。

② 小学生選手の支援について

- ◆ 近年における小学生陸上選手は、滋賀大会エントリー数からも増加していることが窺える。また、各地域において積極的な活動がなされている。しかし、その一方では課題として、練習場所の確保や指導者の高齢化及び指導者不足等が指摘されている。さらに、将来を担う子供達の人材発掘及び育成が大切である。
- ☆ そこで、下記の対応策を提案する。
 - 各地域陸協の小学生陸上競技教室等へより充実したスタッフの派遣を可能とする指導者のデータベース作りを要望する。
 - なお、指導者派遣の連絡調整は各地域陸協担当者が行い、その交通費・謝金等も各地域陸協で考えることとし、滋賀陸協は情報提供のみとする。
 - 小学生陸上の指導者講習会を定期的に普及委員会と連携した開催を要望する

③ 現役選手の支援について

- ◆ 地域陸協において、大半の地域では現役選手を支援する体制づくり・環境づくりが整備されていない。
- ◆ また、中学・高校生は問題ないが、大学・社会人の現役選手が少ない。
- ☆ そこで、下記の対応策を提案する。
 - 各地域陸協で国際大会及び全国大会レベルの大会に出場する選手への激励金を確保するとともに、市体協へ積極的に働きかけ選手及びその指導者に表彰する制度を確立する（既に実施されている市体協がある）。
 - 県民体育大会及び駅伝フェスティバル等に出来るだけ多く参加してもらうと

もに、各地域陸協で代表選手の練習場所の確保や使用料を予算化する。

④ 競技役員について

- ◆ 滋賀陸協全体として、競技役員の高齢化が進んでおり歯止めを掛けなければならないことは周知のとおりである。
- ◆ さらに、2巡目国体に向けて、審判員の確保及び資質向上は最重要課題である。これに対して、近年滋賀陸協審判委員会が積極的に審判講習会開催の機会を提供しているが、若手新規審判員の定着には今一つ繋がっていないのが現状であり、国体開催に向けて中心的に活躍する若い年代の審判員が確保できなければ、競技運営に支障をきたすことが予想される。

☆ そこで、各地域陸協において下記の対応策を提案する。

- 構成員を勧誘するとともに、特に若手構成員に審判資格をとるよう推奨する。
- 審判講習会を定例化し、各地域陸協で出席者を確保する。
- 各地域陸協（複数の地域陸協合同も含め）が審判講習会を開催することは、新規審判員の確保につながる。なお、経費については滋賀陸協に要望する。
- 地域陸協の大会運営に活動されている滋賀陸協非登録者の方々に審判資格をとるよう推奨する。

⑤ 施設について

- ◆ 競技場を有している地域陸協は限られており、大半の地域陸協は自由に使用できる競技場が少ない。

☆ そこで、各地域陸協において下記の対応策について継続的に要望していく。

- 県及び市に働きかけ、陸上競技の普及及び強化の観点から、四地区（湖南、湖東、湖北、湖西）に公認競技場の維持および新規を要望し、各地域で恒久的に陸上教室や大会等ができる環境整備をする。

⑥ 滋賀陸協と地域陸協の関係について

- ◆ 法人化に伴い、従来の代表委員会が廃止されたことにより滋賀陸協とクラブチームおよび地域陸協との関係が脆弱化しているものと考えられる。なお、滋賀陸協とクラブチームとの連絡手段として代表者連絡会を設けているが、これはあくまで情報伝達の場限定していることから両者のコミュニケーションが図られているとは言い難い。
- ◆ 地域陸協側として、滋賀陸協に何かを要望し提案するほど組織的な活動はできていない。
- ◆ 地域陸協は滋賀陸協の傘下に入ることで両者は組織的に強化されると思う。しかしながら、市体協との連携についても考慮する必要がある。

☆ そこで、各地域陸協において下記に掲げた項目について積極的に対応していく。

- 事務局レベルで滋賀陸協と地域陸協とのコミュニケーションの場を設け、両者の関係を継続的に強化していくため、定期的な事務局会議の開催を要望する。

- 地域陸協において、さらなる充実した事業を立案・実施していきたいと考えている。そこで地域陸協の組織強化のために各クラブチームが当該地域陸協に属した場合に団体登録費 10,000 円の免除を要望する。また、新規事業を立上げた場合に滋賀陸協が活性化することにもつながることから新規事業の運営に関する経費の一部を補助していただくことを要望する。
- 滋賀陸協の傘下に入ることおよび市体協との連携を今まで以上に重要視することの両立を目指すことが大切である。

⑦ その他

- ◆ 優れた競技選手を育てることは滋賀陸協や地域陸協の願いであるが、それ以前に一人の人間として良識ある人格を構築することを忘れてはならない。
- ☆ そこで、次の点について滋賀陸協に要望したい。
 - 滋賀陸協の手帳もしくは申請書の注意事項等に『社会貢献（地域貢献）』を行う旨の文言を入れて頂きたい。
 - 小学生から中学・高校と競技指導の中で、技術指導は言うまでもなく、道徳教育もされていると思うが、その中で社会貢献（地域貢献）の指導を同様に取り入れて頂きたい。

6. 次年度以降に実施（検討を含む）すべき内容の提案

本委員会において議論を重ねてきた結果、最も優先しなければならない緊急の課題は、両者（滋賀陸協と各地域陸協）の組織力を強化することであります。

このためには、各地域陸協の組織力を少しでも向上させることが最優先の課題であると考えています。この課題を克服することができれば、滋賀陸協として盤石な体制が築きあげられるものと思います。

そこで、滋賀陸協と各地域陸協がそれぞれの役割を担った実施すべき又は検討すべき内容について以下に提案します。

A) 登録に関する事柄

- 滋賀陸協登録時に地域陸協の所属を明確にする方策を探る
 - ☆ 様式を改訂（地域陸協名を追記）が可能かどうかを含め、検討が必要である。
- 地域陸協の代表者に当該地域陸協の所属会員の全てを提供する。
 - ☆ 各地域陸協の滋賀陸協登録者（個人情報の取扱いには十分注意が必要であることは言うまでもない。）を地域陸協代表者に提供する。
- 地域陸協の窓口（事務局）を紹介する。
 - ☆ 年鑑およびHPなどを通じて、滋賀陸協が正式に地域陸協の窓口を紹介する。
- 地域陸協に所属するクラブチームの代表者を把握し、コミュニケーションを図る。
 - ☆ 地域陸協の総会に出席を要請する。
 - ☆ 地域陸協が把握できたクラブチームに対し、地域陸協が有する情報を提供す

るとともにその活動への参加を促す。

- 登録に関して事務的な手続きの上で地域陸協の負担増となる場合には、負担を少しでも軽減するために滋賀陸協に支援を要望する。

B) 滋賀陸協からの補助金

- 地域陸協が計画する新規事業に関する経費の補助を滋賀陸協に要望する。
 - ☆ 当該年度新規事業について、前年度8月までに事業計画の提出と補助金申請を行う。
 - ☆ 提出された新規事業に対して補助金の可否を判断するルールと機関を設ける必要がある。

C) 滋賀陸協のホームページ

- 滋賀陸協 HP 上に各地域陸協の活動状況やお知らせなどを定期的に提供する。
 - ☆ 地域陸協は、定期的に活動状況やお知らせなどの情報を提供する。
 - ☆ 滋賀陸協は、地域陸協からの提供された情報をHP上にアップする。
 - ☆ 事務局が中心となり、地域委員会及び広報委員会など関係者において上記のルール作りを行う。

D) 審判講習会の開催

- 各地域陸協（複数の地域陸協合同も含め）が審判講習会を開催することは、新規審判員の確保にもつながる。
 - ☆ 地域陸協が積極的に審判講習会を運営することが重要なことである。
 - ☆ その場合の会場費、審判委員長等の講師の派遣費などを滋賀陸協に要望する。

E) 小学生陸上教室の指導者について

- 指導者の充実を図るために滋賀陸協（普及委員会）と地域陸協の双方の協力体制が不可欠である。
 - ☆ 小学生陸上教室などに、より充実したスタッフの派遣を可能にする指導者のデータベース作りを要望する。
 - ☆ 滋賀陸協（普及委員会）が勧めている公認指導員資格取得に地域陸協から積極的に参加する必要がある。
 - ☆ 各地域において活動している小学生陸上教室の指導者に対して、公認指導員による講習会等を定期的に開催することを要望するとともに、各地域陸協は講習会への参加を促す。

F) 事務局の強化

- 滋賀陸協と地域陸協とのコミュニケーションの場を設け、両者の関係を継続的に強化していくため、定期的な事務局会議の開催を要望する。
- この事務局会議の場において、滋賀陸協と各地域陸協の活動状況をモニタリングすることによって、緊張感を維持する。

G) その他滋賀陸協への要望

- 施設について、四地区（湖南、湖東、湖北、湖西）に公認競技場の維持及び新規を要望し、各地域で恒久的に陸上教室や大会等ができる環境整備を継続的に要望していく。
- 滋賀陸協の傘下に入ることおよび市体協との連携を今まで以上に重要視することの両立を目指す。
- 滋賀陸協の年鑑もしくは登録申請時の注意事項等に『社会貢献（地域貢献）』を行う旨の文言の挿入を依頼する。
- 小中高生から、陸上競技以外にマナーや社会貢献について教育していく。

7. おわりに

本報告書は、多くの関係者に一読していただくとともに内容をご理解していただくことが重要であると考えています。

その上で、緊急を要する事項および優先すべき対応策についてそれぞれの立場において積極的に取り組んでいただければ本望であります。

なお、提案させていただいた内容について、今後実施すべきテーマ並びに検討すべきテーマさらに役割分担など、組織的に対応していただく必要があることから、理事会においてお諮りいただくことをお願いして結びにしたいと思います。

以 上

参考資料－1 地域陸協の構成員と会費他

取扱注意

	地域名	地域陸協	地域陸協の母体となる登録団体名	地域協会規約の有無	総会開催の有無	会費&賛助金		構成員			小学生陸上クラブ		高体連				滋賀陸協登録の有無			男子登録者<審判資格有無>			女子登録者<審判資格有無>			全登録者<審判資格有無>		
						年会費	賛助金	滋賀陸協登録者数	一般会員	合計	クラブ数	人数	学校数	男子	女子	計	登録クラブチーム	個人登録(人数)	未登録	有	無	計	有	無	計	有	無	計
1	大津市	大津陸協	—	有	5月	0	200,000	140	0	140	5	135	12校	281	128	409	13	25⑥	0	89	83	172	23	10	33	112	93	205
2	草津市	草津陸協	草津クラブ	有	4月	500	0	20	0	20	1	45	6校	101	49	150	6	8②	0	29	24	53	6	4	10	35	28	63
3	栗東市	栗東陸協	栗東AC	有	5月	1,000	0	17	11	28	1	105	2校	25	11	36	3	6	11	15	23	38	1	5	6	16	28	44
4	守山市	守山陸協	守山市陸上競技協会	有	5月	1,000	0	10	20	30	2	114	3校	78	39	117	3	3	20	19	19	38	7	4	11	26	23	49
5	野洲市	野洲陸協	野洲AC	有	無	0	20,000	10	0	10	0	0	1校	2	0	2	1	3	0	16	15	31	4	1	5	20	16	36
6	近江八幡市	近江八幡陸協	近江八幡AC	有	3月	1,500	0	15	15	30	1	40	4校	95	43	138	4	7①	15	24	22	46	3	3	6	27	25	52
7	東近江市	東近江陸協	東近江AC	有	2月	0	0	18	0	18	2	75	3校	65	29	94	4	7①	0	24	33	57	4	6	10	28	39	67
8	彦根市	彦根陸協	彦根AC	有	5月	0	0	17	0	17	0	0	6校	138	61	199	3	7②	0	20	20	40	4	10	14	24	30	54
9	米原市	米原陸協	米原AC	有	2月	一般1500 登録2000	0	58	33	91	1	97	2校	60	32	92	1	0	33	34	10	44	9	1	10	43	11	54
10	長浜市	長浜陸協	長浜AC	有	5月	2,000	0	17	14	31	2	360	7校	85	42	127	3	6	14	41	17	58	3	3	6	44	20	64
11	高島市	高島陸協	高島AC	無	無	0	0	11	0	11	1	23	2校	38	12	50	1	2①	0	9	3	12	3	0	3	12	3	15
12	湖南市	湖南陸協	湖南AC	有	4月	1,000	15,000	27	14	41	1	30	2校	30	18	48	2	1	14	14	23	37	1	3	4	15	26	41
13	甲賀市	甲賀陸協	甲賀AC	有	5月	1,000	500,000	55	15	70	2	130	6校	101	47	148	4	5	15	40	30	70	10	5	15	50	35	85
14	蒲生郡他	—	蒲生郡AC	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3校	22	3	25	1	0	0	15	8	23	4	3	7	19	11	30
15	県外			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	0	4	14	18	0	6	6	4	20	24	
	合計							415	122	537	19	1154	59校	1121	514	1635	49	85⑬	122	393	344	737	82	64	146	475	408	883

参考資料-2 滋賀陸協 地域別登録者・審判資格者数一覽

	地域名	男子														女子														合計																
		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		計		合計	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		計		合計	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		計		合計
		有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無		有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無		有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無			
1	大津市	8	16	6	22	17	24	14	15	15	5	29	1	89	83	172	4	1	3	3	4	4	5	2	4	0	3	0	23	10	33	12	17	9	25	21	28	19	17	19	5	32	1	112	93	205
2	草津市	4	5	2	5	7	6	4	4	5	3	7	1	29	24	53	0	1	3	1	0	1	0	1	2	0	1	0	6	4	10	4	6	5	6	7	7	4	5	7	3	8	1	35	28	63
3	栗東市	1	3	2	5	1	7	3	6	2	2	6	0	15	23	38	0	0	0	1	0	3	0	1	1	0	0	0	1	5	6	1	3	2	6	1	10	3	7	3	2	6	0	16	28	44
4	守山市	1	3	7	4	3	4	5	4	3	2	0	2	19	19	38	1	0	2	1	2	1	1	1	1	1	0	0	7	4	11	2	3	9	5	5	5	6	5	4	3	0	2	26	23	49
5	野洲市	1	6	0	3	4	4	2	0	4	2	5	0	16	15	31	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4	1	5	1	6	1	3	6	5	3	0	4	2	5	0	20	16	36
6	近江八幡市	1	4	3	8	2	5	8	3	9	1	1	1	24	22	46	0	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	3	3	6	1	4	3	9	3	5	8	5	11	1	1	1	27	25	52
7	東近江市	1	15	3	3	4	7	9	3	7	1	0	4	24	33	57	1	4	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4	6	10	2	19	5	3	4	8	9	4	8	1	0	4	28	39	67
8	彦根市	5	10	1	4	2	4	5	1	4	1	3	0	20	20	40	1	5	2	1	1	1	0	2	0	1	0	0	4	10	14	6	15	3	5	3	5	5	3	4	2	3	0	24	30	54
9	米原市	2	6	5	0	8	0	10	4	7	0	2	0	34	10	44	3	1	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	9	1	10	5	7	7	0	10	0	12	4	7	0	2	0	43	11	54
10	長浜市	0	6	8	1	3	5	16	4	9	1	5	0	41	17	58	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	3	6	1	9	8	1	3	5	17	4	9	1	6	0	44	20	64
11	高島市	0	1	0	1	0	0	4	1	2	0	3	0	9	3	12	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	3	1	1	0	1	0	0	5	1	3	0	3	0	12	3	15
12	湖南市	0	0	2	3	3	9	2	5	5	4	2	2	14	23	37	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	4	0	1	2	5	3	9	2	5	6	4	2	2	15	26	41
13	甲賀市	1	12	5	5	5	4	10	8	12	1	7	0	40	30	70	4	0	0	0	1	4	4	1	1	0	0	0	10	5	15	5	12	5	5	6	8	14	9	13	1	7	0	50	35	85
14	蒲生町他	0	2	2	3	1	0	6	3	3	0	3	0	15	8	23	1	2	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	4	3	7	1	4	2	3	1	1	9	3	3	0	3	0	19	11	30
15	県外	0	5	0	5	0	1	3	3	0	0	1	0	4	14	18	0	2	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	6	6	0	7	0	6	0	3	3	4	0	0	1	0	4	20	24
	合計	25	94	46	72	60	80	101	64	87	23	74	11	393	344	737	17	20	15	11	13	19	18	12	14	2	5	0	82	64	146	42	114	61	83	73	99	119	76	101	25	79	11	475	408	883

参考資料-3 各地域陸協の主な陸上競技大会

取扱注意

	地域名	大会名	管理	滋賀陸協の関わり	参加数	参加費(円/名)	備考
1	大津市	大津市陸上競技大会	主催	主催	900	300~600	
		アスリート育成事業	主催	—	1800	0	
		アスリート強化事業	主催	—	1000	0	
		大津市民駅伝大会	主管	—	110チーム	3,000~5,000	
		大津市小学生陸上大会	主催	—	260	300	
2	草津市	草津市体育大会陸上の部	主管		30	0	
		びわ湖陸上競技大会	主管		1400	100~500	四市(草津、守山、栗東、野洲)
		草津市民駅伝	主管		140チーム	1000~2000	
3	栗東市	栗東市陸上選手権大会	主管		345	100	
		栗東市陸上カーニバル	主管		310	100	
		びわ湖陸上競技大会	主管		1400	100~500	四市(草津、守山、栗東、野洲)
		くりちゃんファミリーマラソン	主管		400		
		びわこ栗東駅伝	主管				
4	守山市	びわ湖陸上競技大会	主管		1400	100~500	四市(草津、守山、栗東、野洲)
5	野洲市	野洲市健康マラソン大会	主管		100	100	
		新春近江富士駅伝大会	主催		25チーム	2,000	
		びわ湖陸上競技大会	主管		1400	100~500	四市(草津、守山、栗東、野洲)
6	近江八幡市	近江八幡市陸上競技選手権大会	主管	—	400	200	
		近江八幡駅伝競技大会	主管	—	100チーム	3,000~8,000	
		水郷の里マラソン	主管	—	2000	1,000~2,500	
7	東近江市	元旦健康マラソン大会	主管	後援	1400	1,000~2,000	県内外
		東近江市民体育大会	主管		350	0	
		東近江市民駅伝大会	主管		400	0~2,000	
8	彦根市	彦根シティマラソン	協力		4000	1500~2000	
		彦根市民体育大会	主管		300	100~500	
9	米原市	まいばら入江干拓マラソン	協力	—			
		ジュニア陸上競技大会	主催	—	200	0	市外からのオープンあり
		小学生駅伝大会	主催	—	10チーム	0	
10	長浜市	長浜市陸上競技大会	主管		560	200	
		長浜陸上記録会	主催		450	200	
		あざいお市マラソン	主管		5800	2,500~4,000	
		長浜市民駅伝大会	主管		100チーム	小学生0~2,000	
11	高島市	—	—	—	—		
12	湖南市	湖南市民スポーツカーニバル					2015年より廃止
		湖南市健康マラソン大会	主管	—	300~350	0	
		湖南市民駅伝大会	主管	—	91チーム	0	
		春季小学生陸上記録会	主催	—	170	0	
		小学生陸上教室(月2~3回)	主催	—	50	0	
13	甲賀市	土山マラソン	主管	主管	4,300	4,000	4200人 ハーフとフル 2種目
		甲賀市民体育大会	主管		400	300~500	1部1232人 2部672人 2日間
		甲賀市民駅伝大会	主管		300	500~2,500	81チーム
		甲賀市陸上競技大会	主催		800	300~500	公認記録会 審判養成事業
		甲賀陸協記録会(年4回)	主催		1回に 200~300	500	
14	蒲生郡他	蒲生郡民体育大会	主催				
		中学生交流記録会	主催				
		小学生記録会	主催				
		小学校陸上大会	主催				
		日野町民駅伝大会	主催				

参考資料－４ 2002年度・2015年度の団体別登録数の比較

2002年度			
番号	コード	団体名	登録数
1	250001	坂田ＡＣ	52
2	250002	彦根ＡＣ	18
3	250003	長浜ＡＣ	22
4	250004	甲賀ＡＣ	71
5	250005	東浅井ＡＣ	18
6	250006	近江八幡ＡＣ	15
7	250007	大津ＡＣ	19
8	250008	高島ＡＣ	30
9	250021	蒲生ＡＣ	15
10	250024	八日市ＡＣ	10
11	250030	栗東ＡＣ	25
12	250039	野洲郡ＡＣ	18
13	250052	土山ＡＣ	35
小計			348
1	250013	東レ滋賀	18
2	250015	松下電工彦根	13
3	250023	パナホーム	10
4	250026	大津市役所倶楽部	31
5	250034	日本精工	15
6	250041	ダイキン工業	15
7	250042	旭化成守山	10
8	250058	日清食品陸上部	10
9	250061	平和堂ＡＣ	10
10	250072	京セラ滋賀	22
11	250073	NEC関西	10
12	250087	長谷川体育施設	10
13	256014	山堀ちりめん株式会社	10
小計			184
1	250012	湖西クラブ	49
2	250020	湖南陸友会	24
3	250022	八風陸友会	23
4	250029	草津クラブ	19
5	250031	びわこランナーズ	10
6	250033	高校教員指導者クラブ	47
7	250063	滋賀マスターズＡＣ	38
8	250077	東レRC	10
9	250078	自衛隊大津	17
10	250088	びわこタイマーズ	17
11	250083	浅井陸上クラブ	24
12	250084	中体連指導者クラブ	28
13	256015	チームMTF	25
14	250038	滋賀大クラブ	12
15	250053	大津トレーニングクラブ	12
16	250070	湖東アスレティックス	10
17	250071	TEAMバンビーノ	13
18	250079	ジョギンガーズ	10
19	250081	ウイニングラン	17
20	250086	アインズ	11
21	250089	田上ランナーズ	10
22	250090	聾話ＡＣ	10
23	250027	滋賀県障害者スポーツ協会	18
24		ディクトンRC	10
25		キューピー醸造	10
小計			474
合計			1006

2015年度			
番号	コード	団体名	登録数
1		米原ＡＣ	58
2		彦根AC	17
3		長浜AC	18
4		甲賀AC	52
5		東浅井AC	12
6		近江八幡AC	11
7		大津Ａ・Ｃ	24
8		高島AC	11
9		蒲生郡ＡＣ	11
10		東近江AC	9
11		栗東ＡＣ	16
12		野洲ＡＣ	10
13		湖南ＡＣ	21
小計			270
1		東レ滋賀	6
2		パナホーム	8
3		日本精工	8
4		ダイキン工業	11
5		旭化成守山	11
6		京セラＡＣ	15
7		河芳工務店	5
小計			64
1		滋賀陸上競技協会	85
2		守山市陸上競技協会	10
3		びわこRUNNERSクラブ	8
4		アクシスAC	12
5		ORWAIS-AC	7
6		比叡山高陸友会	14
7		湖西クラブ	19
8		湖南陸友会	15
9		八風陸友会	17
10		草津クラブ	9
11		びわこランナーズ	9
12		高校教員指導者クラブ	53
13		滋賀マスターズＡＣ	69
14		東レRC	7
15		大津自衛隊	5
16		びわこタイマーズ	5
17		浅井陸上クラブ	12
18		中体連指導者クラブ	33
19		チームMTF	30
20		TEAM Re-START	8
21		カルティケーヤ	8
22		龍谷クラブ	5
23		チームサンタ	32
24		一本道RC	7
25		滋賀レイクスターズ	5
26		八幡ATHLETE CLUB	6
27	24243	Team GEN	15
28	24242	arc speed Running Club in Shiga	7
29		滋賀県立大学陸上競技部	11
30	27592	大津市役所倶楽部	13
31	30741	草津JAC	6
32	27922	USP	7
小計			549
合計			883

参考資料－5 全国小学生陸上滋賀大会エントリー数の変化

形態 A クラブ・スポーツ少年団 B 小学校単位クラブ C 個人		2005年(H17)			2015年(H27)		
形態	クラブ等名称	男子	女子	計	男子	女子	計
A	長浜市陸上教室	36	33	69	53	34	87
A	甲賀JAC	41	28	69	58	36	94
A	日野ミニ陸上教室	30	27	57	24	35	59
A	びわこRUNNERSクラブ	20	31	51	40	37	77
A	守山陸上教室	21	11	32	44	30	74
A	東近江陸上スポーツ少年団	16	16	32	19	20	39
A	浅井陸上クラブ	14	14	28	9	5	14
A	信楽スポーツ少年団	6	9	15	15	4	19
A	大津スキースポーツ少年団	4	3	7	4	6	10
A	湖南市陸上教室	3	2	5	2	2	4
A	安土陸上クラブ		3	3	11	5	16
A	米原JAC	2		2	3	0	3
A	彦根南JAC	1		1	5	6	11
A	栗東市陸上競技教室	8	12	20	54	29	83
A	草津JAC				36	9	45
A	らんクラブ				1	8	9
A	高島ジュニアAC				14	9	23
A	河西陸上クラブ				20	20	40
A	BSC				0	7	7
A	SPKIMURA走塾				12	10	22
A	アスリートキッズ				10	4	14
A	Tランナーズ				13	5	18
A	綾野ゆうゆうクラブ				2	1	3
A	岩根クラブ				0	1	1
B	愛知川東小				2	8	10
B	岩根小				5	0	5
B	伴谷小学校				11	5	16
B	能登川北小				2	1	3
C	志賀小				0	1	1
C	Bloom竜王クラブ				0	1	1
C	近江兄弟社小				1	0	1
C	南郷小				1	0	1
C	瀬田北小				1	0	1
A	今津AC	19	6	25			
A	よもと陸上教室	11	8	19			
A	土山AC	6	10	16			
A	はーと貴生川スポーツクラブ	4	9	13			
A	くつき天駆JAC	9	4	13			
A	びわこクラブ	1	4	5			
A	クラブエイム	0	4	4			
B	ドラゴンウエスト	4	0	4			
B	北野クラブ	2	0	2			
B	坂田クラブ	2	1	3			
B	膳所クラブ	4	0	4			
B	北里クラブ	3	0	3			
B	菩提寺クラブ	0	2	2			
C	桐原東クラブ	0	1	1			
C	若竹クラブ	0	1	1			
C	水戸クラブ	1	0	1			
C	木下クラブ	0	1	1			
C	田中クラブ	1	0	1			
	合 計	269	240	509	472	339	811

形態別クラブ数	A	B	C	A	B	C
	21	6	5	24	4	5